

社会福祉法人小羊学園 事業所名:児童発達支援事業所 在宅支援センターばびるす

事業者向け 児童発達支援事業 自己評価票 (集計結果)

		チェック項目				改善目標 工夫している点(※:目標 ..:工夫)
		はい	どちらか どちらか	いいえ	未回答	
環境・ 体制整備	1	5	1	3		・テラス、ホール、公園を使い体を動かせるように工夫している ・共有スペース使用時は、クラスで時間が重ならないように工夫する ※公園までの往復に時間がかかる ※収納スペースの有効活用
	2	7	1	1		・子ども一人一人に目を配れる人数である ・子どもの人数に応じて他クラスに応援に入っている ※フリーで動ける職員が配置されていると余裕があつていい ※職員が休みの時の職員配置の工夫
	3	4	4	1		・視覚的に出し入れがし易いようにしている(写真・イラスト・マーク) ※工夫はしているが、まだわかり易い方法があるかもしれない。見直しが必要
業務改善	4	5	2	2		・毎日、丁寧に掃除をしている ※午睡時の寝具、衛生面を考えたい
	5	4	1	3	1	
	6	2	3	3	1	・ノート、電話にて要望があつた際には改善に努めている ・定期的な事業所からの問いかけ、評価の必要性がある ・保護者の意向を聞く機会がふやせるとよい
	7	1	2	4	2	※これからできていくとよい ※評価や改善内容を確認する機会をもつようにしたい
	8	1	1	4	3	※評価結果について職員全員で再確認する機会を設けたい
適切な 支援の 提供	9	7	1	1		・どんな研修を受けたいか希望を聞いている ※スキルアップにつながる研修に参加していきたい
	10	8			1	・客観的に捉えられるように、複数の職員で話しをしている ・児発管・クラス担任が作成したものを確認している ※ご家族のニーズや思いが強くなり易いため、家族の思いが偏り過ぎないようにしてきた
	11	5	2		2	※定期的に見直していけるとよい ※日々工夫が必要
	12	3	2	2	2	・項目としてはないが、計画書の文章には支援内容にて組み込んでいる ・支援内容はいつでも確認ができるようにファイルが整理されている ・家族支援、地域支援が必要なご家庭に対して計画書にどのように組み込んでいくか課題 ※職員全員でガイドラインを確認する機会を設けていきたい ※具体的には設定されていないと思う
	13	9				
	14	5	2	1	1	・相談をし、主担当が決定している ・クラスの主担当が立案しその後説明がある
	15	5	2	1	1	・支援上の疑問、不安をその都度話し合い解決できている ・季節の行事を取り入れる ・発達とその時々状況、クラス内の様子を見て考えている
	16	8			1	
	17	5	3		1	・できる日とできない日がある。前日の降園後に行える日は行う ・不明な点があればその都度口頭で確認している
18	8			1	・気づいたことについて話し合いをしている ・当日必ずしも難しい	
19	8			1		

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		1	・相談員さんとの連携が途切れないようにするよう心掛けている ・クラス担任からその都度、説明等あり ※偏りが無いようにいろいろな人からの意見をもらうようにしたい		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1		2	児発管・クラス担当が参画している	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7		1	1	※もっと濃い連携ができるのではないかと。どのくらいの頻度、度合いで連絡をとるのか悩む	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					9	該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	1	1	6	・ご家族が主治医の説明が上手にできない時、要望がある時には連絡をとるようにしている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			1	※定期的に行えとよい	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		1	1	・引継ぎのみの場合が多い ・運動会などの行事に出向きやりとりをするのみ	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	1	2	・気になることがあった時は連絡をし、助言をしている ※研修会、事業所見学などがさらに必要ではないか ※連携しあえる頻度が増えるといいと思う ※助言に対しては批判的に受け取らないようにしたい	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				8	1	・コロナ前は保育園の園庭開放に参加してことがある ※交流をもつことできるか、増やせるかの検討をしたらどうか ※できれば行っていきたい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか				7	2	・児童発達支援事業所連絡会に参画している
保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			1	・ノート、送迎時のみならず、必要に応じて電話、面談、訪問を行っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1		5	3	・プログラムは作っていないがその都度連絡をとっている ※専門の支援が行える人材が必要	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		1	3		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8			1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			1	・日々連絡ノートにてやり取りをし、必要時には電話にて話をうかがっている ※SOSを出しにくいご家庭への対応を考えていきたい	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			7	2	・保護者会が必要かどうか判断が難しい。懇親会を嫌がる方もいた。参加したい人のみでもいいと思うが親同士の交流も必要性を感じているため機会を作っている。 ※保護者同士が支障なく交流できるような仕組み作り	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9					
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9				・日々の様子がわかるように写真入りのお手紙を配布している ※不十分だとは感じている		
非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8			1	・おたより(写真)掲載の了承を得ている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			1	・障害受容ができていない家庭が多いため、障害があるというより子育て中のご家族、一人の児として配慮をしている ・障害特性を理解して関わりを持つよう心掛けている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			8	1	・災害時のことを思うと必要性を感じる。行事招待というよりもご挨拶程度かなと思う ※地域の方に事業所を知っていただくための必要性またそれに向けた話し合い	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2	2	1	※より具体的な緊急性を想定しての訓練	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1			・毎月防災訓練を行っている ・わかり易いようにイラスト付きの説明をしている ※専門の方からのアドバイスや児への指導があるといい ※訓練のマンネリ化を防ぐ ※応急処置等の知識を得たい	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9				・薬は保管していない ※服薬状況、依頼書など書面で残せるといい		

非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・指示書はないが、保護者からの聞き取りを基に対応している ・ご家庭より弁当を持参してもらっている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイリングをし、会議で報告・共有 ・小さなヒヤリハットもあげ、事故の未然防止に努めていくようにしている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2		1	<ul style="list-style-type: none"> ・10月に研修を行う ※ご家庭での虐待が疑われる児、ご家庭への対応方法も決めておけると安心 ※日常的に話す機会がもてたらと考える
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	1	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束自体必要ないと思います ・入園児に説明をしているのみ